

## 平成25年度応急仮設住宅（プレハブ）入居者健康調査結果の概要

### 1 調査の目的

プレハブ仮設住宅での生活が長期化するに伴って、様々な健康問題の発生が懸念されることから、応急仮設住宅（プレハブ）入居者の健康状況を把握し、要フォロー者を必要な健康支援事業に結びつけるとともに、施策展開の基礎資料とすることを目的として前年度に引き続き実施したものの。

### 2 実施主体

宮城県及び応急仮設住宅（プレハブ）を管理する9市町（名取市，岩沼市，亶理町，山元町，石巻市，東松島市，気仙沼市，南三陸町，美里町）の共同実施。

（前年度は名取市，岩沼市，亶理町，塩竈市，大郷町，石巻市，東松島市，気仙沼市，南三陸町，美里町の10市町）

### 3 調査対象

上記9市町が管理する応急仮設住宅（プレハブ）の入居者 15,106世帯  
（前年度 15,979世帯）

### 4 実施時期

平成25年9月～11月（前年度 平成24年9月～12月）

### 5 調査方法

- (1) 配布 市町の支援員等による戸別訪問
- (2) 回収 市町の支援員等による戸別訪問または郵送

### 6 調査項目

- (1) 個人属性（氏名，性別，生年月日，続柄，職業）
- (2) 健康状況（身体的・心理的状況，身体活動・社会性の状況など）

### 7 回収率

- (1) 配布世帯数 15,106世帯 （前年度 15,979世帯）
- (2) 回収世帯数 7,686世帯 （前年度 9,366世帯）
- (3) 回収率 50.9% （前年度 58.6%）
- (4) 有効回答人数 16,728人 （前年度 21,450人）

### 8 調査結果 別紙のとおり

### 9 調査後の対応

- (1) 回収した調査票は順次該当市町に送付し，市町は，ひとり暮らし高齢者や心の問題を抱えた人などの現状確認や各種支援を行っている。

県は，市町の取組に対してみやぎ心のケアセンターなどの関係機関と連携して支援を行っている。

- (2) 高齢者等の見守り，心のケア・アルコール問題対策，生活不活発病予防などについて，引き続き県と市町が連携して推進する。

- (3) 調査結果を基に各市町とともに地域の課題検討を行った上，市町による課題への対応を支援するとともに，有識者の助言を得ながら今後想定される課題への対応策を検討・実施する。

## 平成25年度 応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査の結果

### 1 世帯の状況

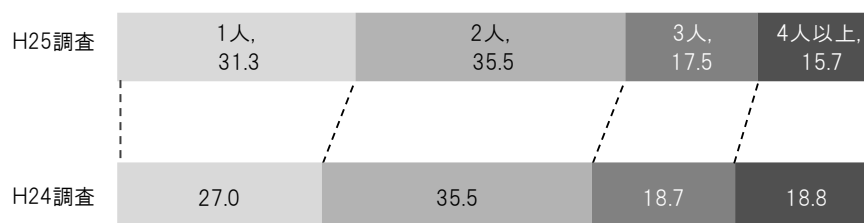
#### (1)世帯人数

世帯ごとの人数は、「2人」が35.5%と最多で、次いで「1人」が31.3%となっている。前年度調査(※1)と比べると、「3人」及び「4人以上」の割合が低くなり、「1人」の割合が高くなった。

表1-1 世帯人数

世帯人数	H25調査		H24調査 ※1
	世帯数	割合	割合
1人	2,403	31.3%	27.0%
2人	2,730	35.5%	35.5%
3人	1,348	17.5%	18.7%
4人以上	1,205	15.7%	18.8%
合計	7,686	100.0%	100%

図1-1 世帯人数(割合%)



#### (2)独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は1,443世帯ある。全世帯に占める割合は18.8%であり、前年度調査と比べて2.4ポイント高くなった。

表1-2 独居高齢者世帯の割合

H25調査	H24調査	県平均 (H25.3末) ※2
18.8%	16.4%	9.6%

注 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した(以下同じ)。

※1 平成24年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成24年9~12月実施)(以下同じ)。

※2 高齢者人口調査及び住民基本台帳世帯数より。

## 2 調査対象者の属性

### (1) 性別・年齢構成

65歳以上の高齢者の割合は39.2%であり、前年度調査と比べて4.9ポイント高くなった。  
 なお、県平均は、平成25年3月末現在で23.3%であった(高齢者人口調査より)。

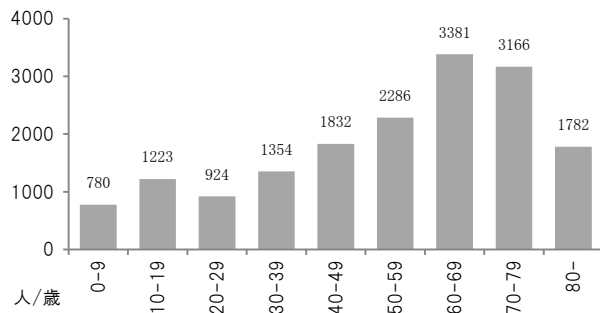
表2-1 性別

性別	人数 ( 割合 )
男性	7,973 ( 47.7% )
女性	8,755 ( 52.3% )
合計	16,728 ( 100.0% )

表2-2 年齢構成

年代	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
0-9歳	780	4.7%	5.9%
10-19歳	1,223	7.3%	8.1%
20-29歳	924	5.5%	6.3%
30-39歳	1,354	8.1%	9.1%
40-49歳	1,832	11.0%	11.6%
50-59歳	2,286	13.7%	14.3%
60-69歳	3,381	20.2%	19.0%
70-79歳	3,166	18.9%	16.9%
80歳以上	1,782	10.7%	9.0%
合計	16,728	100.0%	100.0%
65歳以上(再掲)	6,550	39.2%	34.3%

図2-1 年齢構成



### (2) 職業

職業は、「無職」が34.6%と最多で、「会社員」18.0%、「主婦」10.9%と続いている。前年度調査と比べると、「無職」の割合が1.9ポイント高くなった。

表2-3 職業(複数回答あり)

職業	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
会社員	2,876	18.0%	17.2%
公務員	172	1.1%	1.3%
自営業	780	4.9%	5.4%
パート・アルバイト	1,629	10.2%	9.9%
農業	259	1.6%	1.3%
漁業	744	4.6%	4.4%
主婦	1,740	10.9%	12.1%
学生	1,464	9.1%	10.2%
無職	5,550	34.6%	32.7%
その他	805	5.0%	5.5%
合計	16,019	100.0%	100%

### 3 健診の受診状況

最近1年間に健診を受けた人は、72.6%であり、前年度調査と比べて4.5ポイント高くなった。年代別・男女別では、20歳代、30歳代及び80歳以上の女性で60%前後と低くなっている。

表3-1 健診受診状況(対象:19歳以上)

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
受けた	10,232	72.6%	68.1%
受けていない	3,749	26.6%	30.8%
分からない	109	0.8%	1.1%
合計	14,090	100.0%	100.0%

図3-1 健診受診の状況

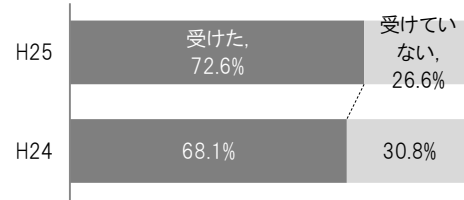
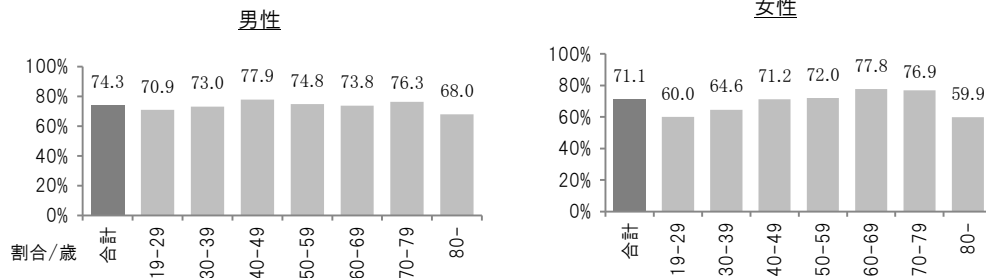


図3-2 健診を受けた人の割合(年代別)



### 4 体調

体調については、「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は18.1%であり、前年度調査と比べて1.2ポイント低くなった。男女別では、女性が高くなっている。

表4-1 体調の状況

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
大変よい	2,653	16.6%	17.2%
まあよい	10,457	65.3%	63.4%
あまり良くない	2,644	16.5%	17.6%
とても悪い	255	1.6%	1.7%
合計	16,009	100.0%	100.0%

図4-1 体調の状況

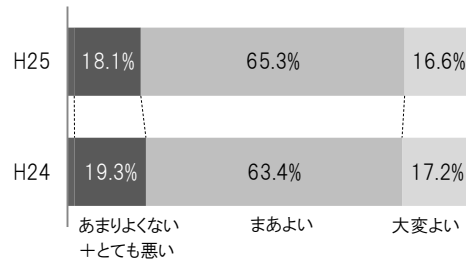
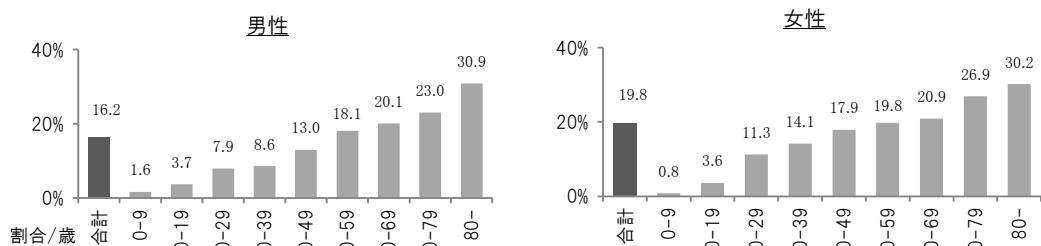


図4-2 「あまり良くない」と「とても悪い」の合計の割合(年代別)



## 5 疾病の状況

現在、病気がある人の割合は52.0%で、前年度調査から変化はなかった。

表5-1 現在の病気の有無

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
ある	8,195	52.0%	52.0%
ない	7,556	48.0%	48.0%
合計	15,751	100.0%	100.0%

図5-1 現在の病気の有無

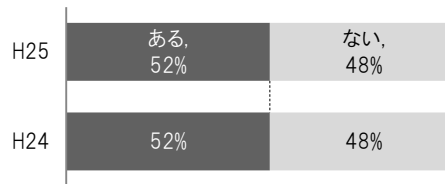
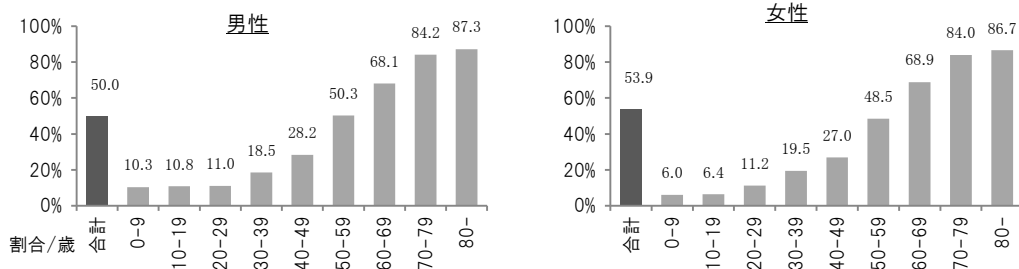


図5-2 病気のある人の割合(年代別)



病気別では、高血圧(28.3%)が最多で、次いで糖尿病(8.8%)となっている。また、病気があるが治療を中断している人は275人で、病気がある人の3.4%となっている。

表5-3 病気の種類別(複数回答あり)

病名	H25調査		H24調査※1
	人数	割合※1	割合※1
高血圧	4,729	28.3%	27.3%
糖尿病	1,478	8.8%	8.7%
心疾患	752	4.5%	4.5%
呼吸器疾患	548	3.3%	3.4%
がん	553	3.3%	2.8%
精神疾患	486	2.9%	3.1%
脳血管疾患	364	2.2%	2.2%
透析	60	0.4%	0.4%
その他	2,515	15.0%	16.5%

図5-3 病気の種類別(複数回答あり)

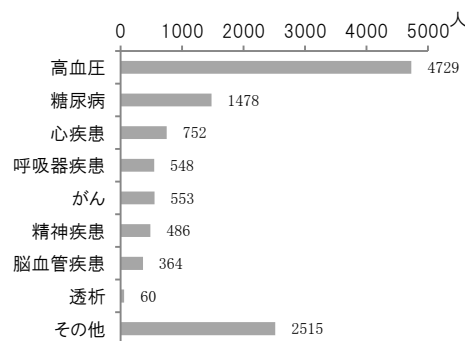
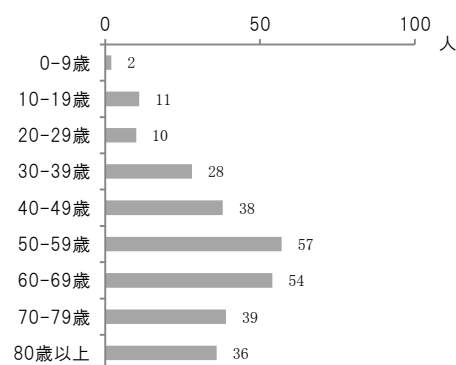


表5-4 治療を中断している人の数

年代	H25調査	H24調査※2
0-9歳	2	4
10-19歳	11	15
20-29歳	10	17
30-39歳	28	28
40-49歳	38	38
50-59歳	57	101
60-69歳	54	133
70-79歳	39	183
80歳以上	36	78
合計	275	597

図5-4 治療を中断している人の数



※1 割合は、有効回答数に占める割合。

※2 平成24年度調査では、「現在は通院・治療していない」と回答した人の数。

## 6 心の問題

不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6（※1）で見ると、支援が必要な程度の強い心理的苦痛を感じているとされる13点以上の割合は8.3%であり、前年度調査と比べて1.2ポイント低くなった。年代別では高齢層で高く、80歳以上の男性が11.5%、70歳代女性が11.2%、80歳以上の女性が10.6%となっている。

表6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上)

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
13点以上	1,026	8.3%	9.5%
10-12点	1,110	9.0%	9.5%
5-9点	3,196	25.9%	26.3%
5点未満	6,992	56.7%	54.7%
合計	12,324	100.0%	100.0%

図6-1 心の状況

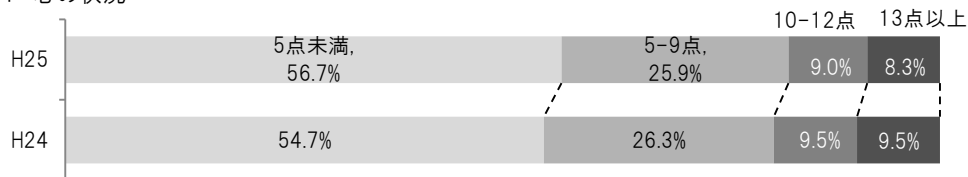
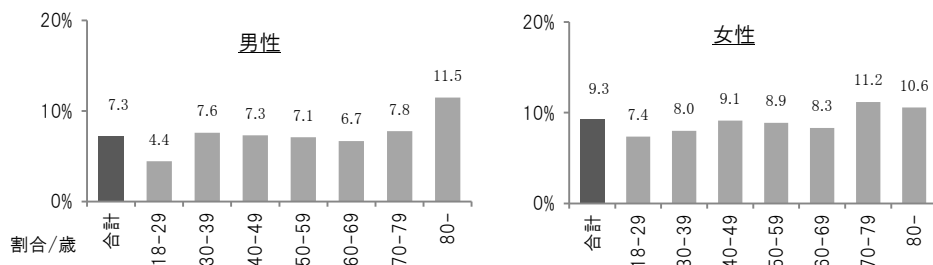


表6-2 「13点以上」の割合(年代別)

(%)	合計	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
男性	7.3	4.4	7.6	7.3	7.1	6.7	7.8	11.5
女性	9.3	7.4	8.0	9.1	8.9	8.3	11.2	10.6
合計	8.3	5.9	7.8	8.2	8.0	7.5	9.7	10.9

図6-2 「13点以上」の割合(年代別)



※1 K6とは

K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

平成22年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査では、13点以上が4.6%であった(20歳以上。「不詳」を除いて集計)。

※2 割合は、K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)があった18歳以上の人に占める割合。

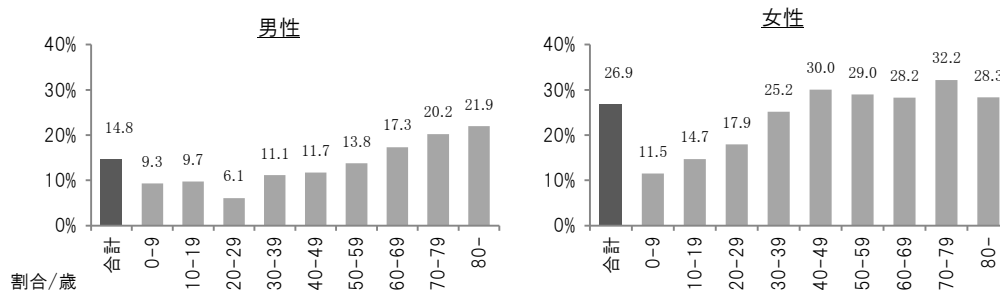
## 7 心の動揺

災害を思い出して気持ちが動揺することがあると回答した人の割合は21.1%となっている(前年度は未調査)。全体的に女性が高く、70歳代女性では32.2%となっている。

表7-1 心の動揺

	人数	(割合※)
災害を思い出して気持ちが動揺することがある	3,536	(21.1%)

図7-1 災害を思い出して気持ちが動揺することがある人の割合※



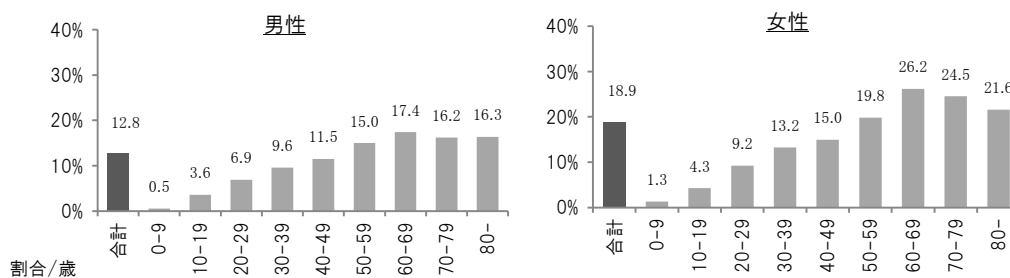
## 8 不眠の状況

眠れない人の割合は16.0%であり、前年度調査と比べて0.7ポイント高くなった。男女別では女性が、年代別では60歳代及び70歳代が高くなっており、60歳代女性が26.2%、70歳代女性が24.5%となっている。

表8-1 不眠の状況

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合※
眠れない	2,675	16.0%	15.3%

図8-2 不眠の割合※



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

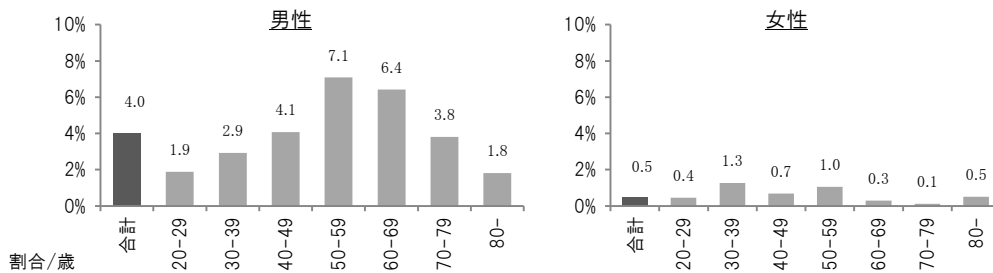
## 9 飲酒の状況

朝又は昼から飲酒することがある人の割合は2.2%であり、前年度調査と比べて0.4ポイント高くなった。50歳代男性が7.1%と最も高く、次いで60歳代男性が6.4%となっている。

表9-1 飲酒の状況

	H25調査		H24調査
	人数	割合※1	割合※1
朝又は昼から飲酒することがある	361	2.2%	1.8%

図9-2 飲酒の割合※



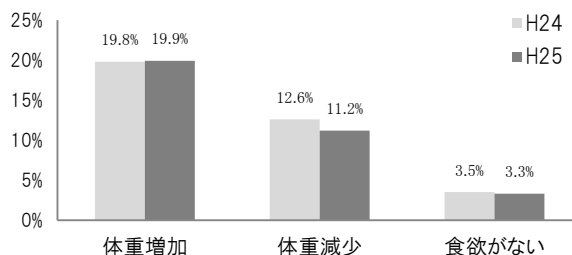
## 10 食欲及び体重変化の状況

体重が減少した人の割合は前年度調査と比べて1.4ポイント低くなったが、食欲がない人及び体重が増加した人の割合にはほぼ変化がなかった。50歳代女性(32.5%)及び60歳代女性(31.1%)で体重が増加した人の割合が高くなっている。

表10-1 食欲及び体重変化の状況

	H25調査		H24調査
	人数	割合※1	割合※1
食欲がない	548	3.3%	3.5%
体重減少 ※2	1,876	11.2%	12.6%
体重増加 ※2	3,326	19.9%	19.8%

図10-1 食欲及び体重変化の状況



※1 割合は、有効回答数に占める割合。

※2 平成24年度は「震災前に比べて体重が減少又は増加した」割合。平成25年度は「1年前に比べて体重が減少又は増加した」割合。



図10-2 食欲ない人の割合※1

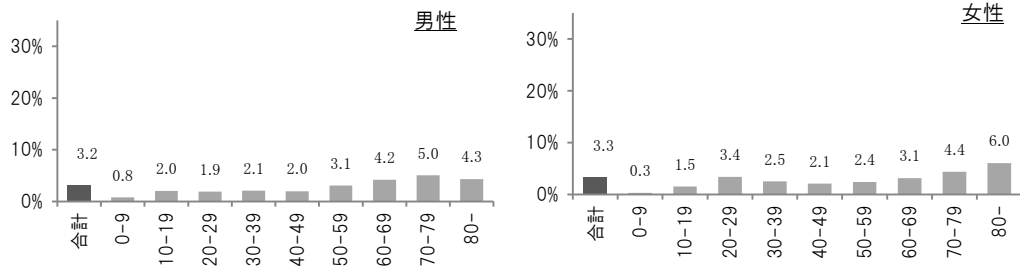


図10-3 体重が減少した人の割合※1

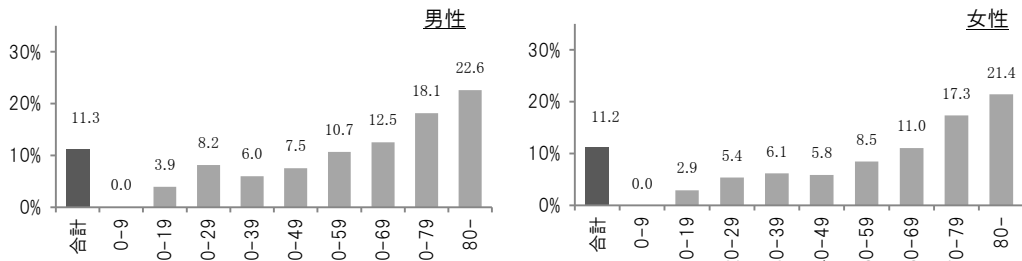
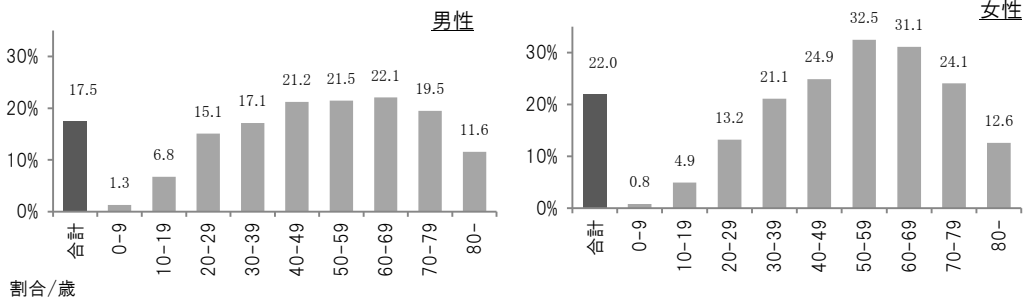


図10-4 体重が増加した人の割合※1



## 11 相談相手の有無

相談相手がない人の割合は19.2%であり、前年度調査と比べて0.7ポイント高くなった。年代別・男女別では、50歳代以上の男性で相談相手がない人の割合が高くなっている。

表11-1 相談相手の有無

	H25調査		H24調査	
	人数	割合	人数	割合
いる	12,242	80.8%	12,242	81.5%
いない	2,906	19.2%	2,906	18.5%
合計	15,148	100.0%	15,148	100.0%

図11-1 相談相手の有無

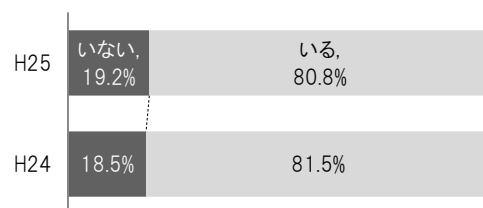
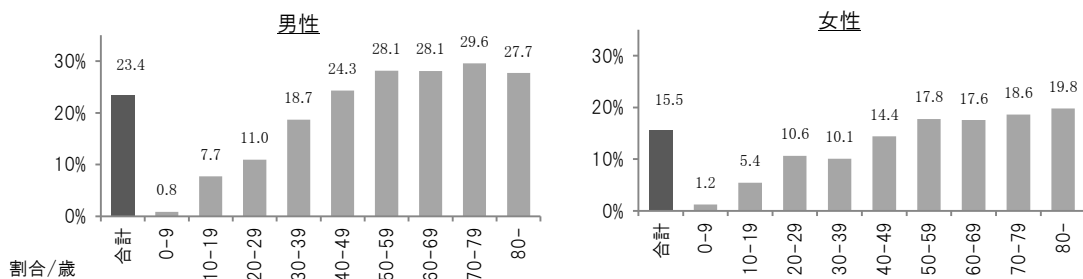


図11-2 相談相手がない人の割合



## 12 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」、「少なくなった」と答えた人の割合は50.9%である。男女別では女性で高くなっている。前年度調査(50.6%)と比べての変化はなかった。

表12-1 体を動かす機会の変化

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
とても少なくなった	3,236	20.5%	18.8%
少なくなった	4,789	30.4%	31.8%
変化なし(もともと少ない)	3,356	21.3%	16.2%
変化なし(よく動く)	3,220	20.4%	25.1%
増えた	1,156	7.3%	8.0%
合計	15,757	100.0%	100.0%

図12-1 体を動かす機会の変化

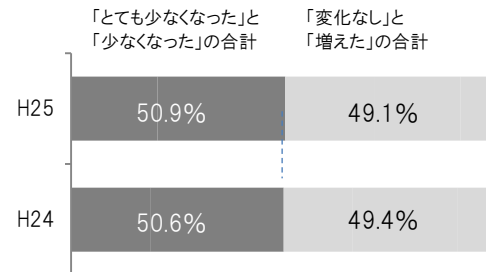
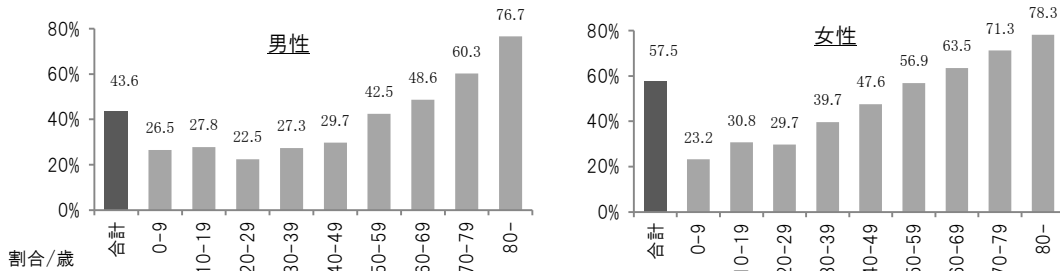


図12-2 「とても少なくなった」と「少なくなった」の合計の割合



## 13 行事への参加状況

地域との交流行事に参加している人は43.9%である。男女別では女性で高くなっている。前年度調査と比べると1.1ポイント高くなった。

表13-1 行事への参加

	H25調査		H24調査
	人数	割合	割合
参加している	6,922	43.9%	42.8%
参加していない	8,846	56.1%	57.2%
合計	15,768	100.0%	100.0%

図13-1 行事への参加

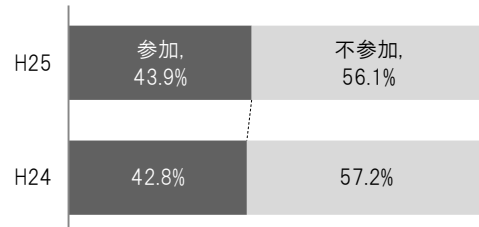
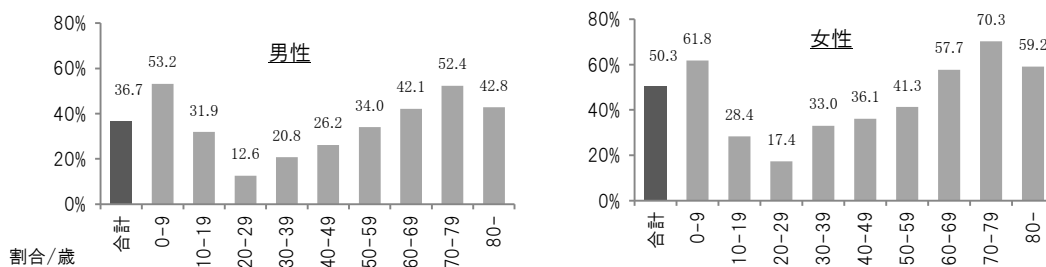


図13-2 参加している人の割合



## 14 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は15.7%であり、前年度調査と比べて大きな変化はなかった。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、52.8%で、前年度調査と比べて7.5ポイント低くなった。

表14-1 要介護認定の状況

	H25調査				H24調査	
	認定者		サービス利用		認定者	サービス利用
	人数	割合※1	人数	割合※2	割合※1	割合※2
要支援1	290	4.4%	101	34.8%	3.8%	45.0%
要支援2	235	3.6%	117	49.8%	3.1%	54.2%
要介護1	149	2.3%	86	57.7%	2.9%	63.4%
要介護2	157	2.4%	105	66.9%	2.0%	74.7%
要介護3	74	1.1%	50	67.6%	1.6%	68.7%
要介護4	76	1.2%	51	67.1%	1.1%	75.0%
要介護5	47	0.7%	33	70.2%	0.8%	72.4%
合計	1,028	15.7%	543	52.8%	15.4%	60.3%

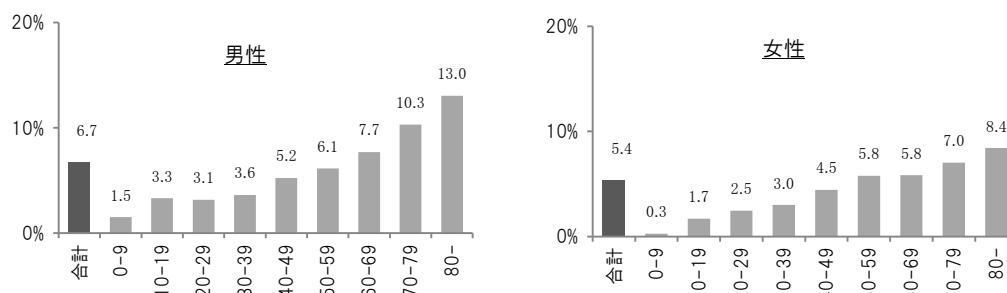
## 15 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人の割合は6.0%で、前年度調査と比べて0.6ポイント高くなった。

表15-1 障害者手帳の状況

	H25調査		H24調査
	人数※3	割合※4	割合※4
手帳あり	1,008	6.0%	5.4%
身体	799	4.8%	4.4%
療育	111	0.7%	0.7%
精神	135	0.8%	0.7%

図15-2 障害者手帳を持っている人の割合

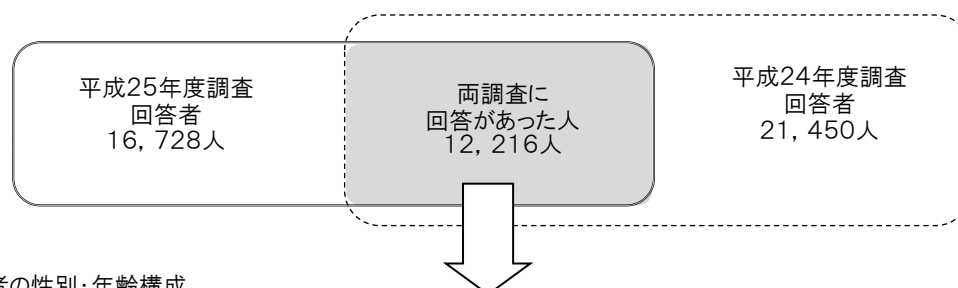


- ※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。
- ※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。
- ※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。
- ※4 有効回答数に占める割合。

## 16 前年に引き続き回答があった人の状況

今回調査の回答者16,728人のうち、平成24年度調査でも回答があったのは12,216人(73.0%)である(平成24年度調査回答者21,450人に占める割合は57.0%)。

これら12,216人について両調査における回答を比較すると、「K6が13点以上」が1.7ポイント低くなった一方で、「体を動かす機会がとても少なくなった・少なくなった」は1.4ポイント高くなった。



### (1) 回答者の性別・年齢構成

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	65歳以上(再掲)
男性	233	441	315	487	698	835	1,225	1,092	464	5,790	2,138
女性	242	407	276	416	632	860	1,320	1,409	864	6,426	2,922
合計	475	848	591	903	1,330	1,695	2,545	2,501	1,328	12,216	5,060
(割合)	( 3.9% )	( 6.9% )	( 4.8% )	( 7.4% )	( 10.9% )	( 13.9% )	( 20.8% )	( 20.5% )	( 10.9% )	( 100.0% )	( 41.4% )

### (2) 回答の状況

項目	選 択 肢	回答人数 (割合※1)		増減
		H25調査	H24調査	
体 調	「とても悪い」+「あまり良くない」	2,151 ( 17.6% )	2,243 ( 18.4% )	▲ 92 ( ▲ 0.8 )
疾病の状況	「病気がある」	6,275 ( 51.4% )	6,366 ( 52.1% )	▲ 91 ( ▲ 0.7 )
心の問題	K6が13点以上 ※2	718 ( 7.9% )	817 ( 9.6% )	▲ 99 ( ▲ 1.7 )
不眠の状況	「眠れない」	1,951 ( 16.0% )	2,025 ( 16.6% )	▲ 74 ( ▲ 0.6 )
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	235 ( 1.9% )	215 ( 1.8% )	20 ( 0.1 )
食欲の状況	「食欲がない」	378 ( 3.1% )	392 ( 3.2% )	▲ 14 ( ▲ 0.1 )
相談相手の有無	「いない」	2,093 ( 17.1% )	2,008 ( 16.4% )	85 ( 0.7 )
体を動かす機会の変化	「とても少なくなった」+「少なくなった」	6,016 ( 49.2% )	5,835 ( 47.8% )	181 ( 1.4 )

※1 前年に引き続き回答があった人12,216人に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)をした18歳以上の人に占める割合。

平成25年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査結果(市町別の主な項目)

仮設住宅 所在市町	配布 世帯数 【A】	回収 世帯数 【B】	回収率 【B/A】	有効回答 人数 【C】※1	高齢独居世帯 【D】 ( D/B )	治療中断 【E】 ( ※2 )	K6 13点以上 【F】 ( ※4 )	朝又は昼から飲酒 することがある 【G】 ( G/C )
名取市	803	443	55.2%	910	86 ( 19.4% )	20 ( 4.6% )	75 ( 11.3% )	20 ( 2.2% )
岩沼市	335	235	70.1%	541	37 ( 15.7% )	7 ( 2.5% )	34 ( 8.5% )	11 ( 2.0% )
亶理町	795	442	55.6%	960	94 ( 21.3% )	14 ( 2.8% )	64 ( 8.5% )	18 ( 1.9% )
山元町	755	390	51.7%	796	92 ( 23.6% )	17 ( 3.9% )	44 ( 8.1% )	29 ( 3.6% )
石巻市	6,171	3,402	55.1%	7,058	672 ( 19.8% )	122 ( 3.5% )	446 ( 8.4% )	151 ( 2.1% )
東松島市	1,498	405	27.0%	855	66 ( 16.3% )	18 ( 4.2% )	53 ( 8.2% )	25 ( 2.9% )
気仙沼市	2,950	899	30.5%	1,810	203 ( 22.6% )	38 ( 4.1% )	133 ( 10.0% )	36 ( 2.0% )
南三陸町	1,762	1,439	81.7%	3,719	191 ( 13.3% )	39 ( 2.3% )	173 ( 6.6% )	70 ( 1.9% )
美里町	37	31	83.8%	79	2 ( 6.5% )	0 ( 0.0% )	4 ( 6.8% )	1 ( 1.3% )
合 計	15,106	7,686	50.9%	16,728	1,443 ( 18.8% )	275 ( 3.4% )	1,026 ( 8.3% )	361 ( 2.2% )
参考: H24調査	15,979	9,366	58.6%	21,450	1,536 ( 16.4% )	※3 597 ( 5.8% )	1,374 ( 9.5% )	391 ( 1.8% )

※1 性別及び年齢について有効な回答をした人の数。

※2 「現在病気がある」と回答した人の数に占める割合。

※3 「現在病気がある」が、「治療を受けていない」と回答した人の数。

※4 K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)をした18歳以上の人に占める割合。